

2018 年度 SGH 成果発表会兼第 23 回公開教育研究会報告

研究部 玉 谷 直 子

SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定 5 年目（最終年度）となった 2018 年度は、SGH 科目として研究開発を進めてきた「グローバル地理」（第 1 学年，必修，2 単位，地理歴史科学校設定科目）、「持続可能な社会の探究 I」（第 2 学年，必修，2 単位，総合的な学習の時間）、「持続可能な社会の探究 II」（第 3 学年，必修，1 単位，総合的な学習の時間）における指導や評価の方法に関する研究開発の成果を広く発信する機会を設けることをめざし、6 月 13 日（水）に第 2 回 SGH 公開授業を実施し「グローバル地理」と「持続可能な社会の探究 I」、11 月 14 日（水）に第 3 回 SGH 公開授業を実施し「グローバル地理」、「持続可能な社会の探究 I」、「持続可能な社会の探究 II」の日頃の授業の様子を公開した。そのうえで、3 月 16 日（土）には、昨年度同様、成果発表会と公開教育研究会を兼ねて実施し、SGH 科目における生徒たちの一年間の探究活動の成果を発表する機会を設けるとともに、本校における指導や評価の方法について発信・協議する機会を設けた。

午前の部では、まず 1 年生 5 名が「グローバル地理」における学びを活用して作成した、地図を用いた課題解決案について発表した。その後、「持続可能な社会の探究 I」の 7 講座の代表生徒が、それぞれの講座の紹介と自分たちの課題研究の過程や成果を発表した。最後に 3 年生 5 名が、クラスごとに英字新聞を作成する「持続可能な社会の探究 II」における取組について、各クラスの英字新聞を作成する過程や新聞の内容、取組を通して学んだことについて英語による発表を行った。

午後の部では、「持続可能な社会の探究 I」の各講座に分かれ、1 年間課題研究に取り組んできた 2 年生が、次年度当該講座に配属される 1 年生に対し、主に課題研究の方法についてガイダンスをするという目的でグループワークを行った。各分科会の様子については、189 ページからの各講座の報告を参照されたい。

外部の参加者は教育関係者 31 名、保護者（午前中のみ）60 名、附属中学校生徒 30 名、附属中学校教諭 2 名であった。また、SGH 運営指導委員 5 名、管理機関であるお茶の水女子大学から 5 名の教員も参加した。

教育関係者のみを対象とした参加者アンケートでは、「大変満足している」・「満足している」と回答した方が午前の部については 94%，午後の部については 100%であった。また「今回の成果発表会は、ご自身の授業や研究に役立ちそうですか」という調査項目には、100%の方が「大変役立つものがあった」・「まあまあ役立つものがあった」と回答している。

具体的には、「大学の先生や当事者など“本物”からヒントやアドバイスをもらっていることから、学校と実社会との境界を設定しないことの重要性を再認識しました」、「先生方の緻密なカリキュラムマネジメントと生徒への指導が行き届いているこ

とがすばらしいと思いました」、「仮説の立て直しや直面した課題などがあり、成果の一方的なアピールになっていないのがよい」等の、本校が重視してきた実社会を学びの場とすることや試行錯誤を重視する方法論を評価する声があった。(本校の3年間のカリキュラムの指導方法については『SGHの取り組みから見えてきたこと 生徒と共につくる探究的な学び』を参照されたい。)一方、「質疑応答の時間があるとよかった。生徒がどのような質問をするのかを聞きたかった」等の意見もあった。今後の成果発表会・公開教育研究会運営の参考にしたい。

なお、本年度の成果発表会兼公開教育研究会の概要をいかに記しておく。

2018年度SGH成果発表会兼第23回公開教育研究会

1 日 時 2019年3月16日(土) 10:00～15:30

2 会 場 お茶の水女子大学講堂 および 附属高等学校校舎

3 時 程

9:30～ 受付(講堂)

午前の部(講堂)

10:00～10:10 開会式

10:10～10:20 1年生「グローバル地理」(学校設定科目)代表生徒成果発表

10:20～11:50 2年生「持続可能な社会の探究Ⅰ」(総合的な学習の時間)
各講座代表生徒成果発表

①経済発展と環境「熱中症対策と私たちの未来」

②生命・医療・衛生「小児病棟におけるプレイルームの再構築」

③国際協力とジェンダー「性的少数者を含むすべての人々が快適に過ごすことのできる制服作り」

④国際関係と課題解決「インドネシアの心血管疾患患者数の減少にむけた日本食の可能性」

⑤情報技術と創造力「訪日外国人向けWebコンテンツとアプリの作成」

⑥音楽のグローバル化「音楽のグローバル化における諸問題の研究」

⑦言語に依存しない情報発信「3Dプリンターで住宅を建てる」

11:50～12:00 3年生「持続可能な社会の探究Ⅱ」(総合的な学習の時間)
代表生徒による英字新聞の紹介

午後の部(講堂)

13:00～14:00 「持続可能な社会の探究Ⅰ」1・2年生によるグループワーク

14:20～15:30 研究協議、閉会式

(15:40～16:40 運営指導委員会)